

令和 7 年 6 月定例会 一般質問概要

令和 7 年 6 月 11 日(水)

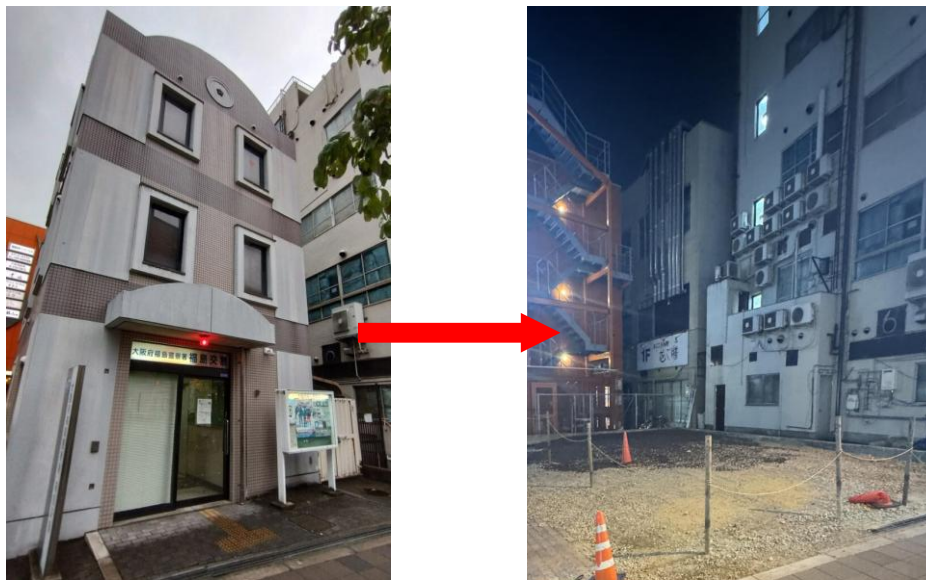
質問者:橋本ゆうと 議員



大阪維新の会大阪府議会議員団の橋本ゆうとでございます。
通告に従い、順次質問をさせていただきます。

① 福島交番について(1)

交番は、地域住民の安全と安心のより所ですが、昨年6月末に JR 福島駅近くにあった福島交番が、土地所有者との契約上の関係から無くなりました。福島交番が無くなったことにより、地域住民から不安の声を聞いており、早期の交番用地の確保が必要と考えております。そこで、交番のあった場所周辺のパトロールの現状についてお伺いするとともに、あわせて、福島交番に替わる今後の交番設置の計画について、警察本部長にお伺いします。



1

（警察本部長答弁）

○ 福島交番は、JR 福島駅前の人通りが多い場所に設置されていたが、地権者が変わったことにより、急遽、交番を存続できない状況となり、退去せざるを得なくなった。

○ 福島交番は無くなったが、福島警察署の地域警察官の数は変わりなく、福島交番の勤務員は隣接交番等に配置するなどして、福島交番管内のパトロールや巡回連絡を行い、管内の治安維持に努めている。

○ また、福島警察署だけでなく、本部方面機動警ら隊のパトカー等もパトロールを行っている。

○ 次に、福島交番に替わる交番設置の計画についてお答えする。

○ JR 福島駅周辺の交番設置の必要性については強く感じているところであり、まずは福島交番に替わる交番用地の確保に向けて、自治体等の関係機関に働きかけているところ。

【要望】

JR 福島駅付近は繁華街であり、地域住民の皆さんは交番がなくなったことによる治安悪化の懸念を拭えません。一方、ご覧のように日夜、警察の方々も安全対策に真摯に取り組んでくださっています（パネル2）。先ほど、本部長から「JR 福島駅周辺の交番設置の必要性については強く感じている」とご答弁いただいたことは、交番がこのままなくなってしまうかもしれないと不安にさいなまれる住民の皆さんにとっての希望となることでしょう。引き続き取組を進めていただきますようお願いいたします。



2

① 福島交番について(2)

さて、今回の福島交番と同様に、府下において土地の問題が発生して、交番を急遽移転せざるをえなくなることを防ぐために、どのような対策をしているか、警察本部長にお伺いします。

(警察本部長答弁)

- 交番用地は、府有地が最適であるが、府有地が確保できない場合もある。そのような場合は、無償あるいは有償で土地を借りて、交番を設置している。
- 地権者が変わることによって急遽立ち退きを迫られることが無いよう、自治体に働きかけ、交番用地として適した土地を確保するように努めてまいる。

【要望】

府有地でない土地に交番が設置されている場合、くだんの事象が起きないとは限りません。福島交番のように突然交番がなくなる、といったことが他の交番で起きないよう、リスクヘッジしていただきますようお願いいたします。

② 万博警備に伴う自主警備員との連携について

大阪・関西万博の一般来場者数の累計が、600万人を超え、日々の来場者も増加傾向にあります。来場者の増加に伴い、会場の警備対策についても、更に重要性が高まっているものと思います。特に、テロや重大事件の未然防止に向けて、博覧会協会が配置する自主警備員と警察との連携強化が極めて重要と考えております。

今後、来場者が更に増加することが予想される中、警備の質的にも高いものが求められることから、警察と自主警備員がどのように連携し、来場者の安全・安心を確保していくのかについて、警察本部長にお伺いします。

（警察本部長答弁）

○ 大阪・関西万博は、国内外の要人を含め数多くの方が来場されるなど、国内外から注目されている国際イベントであり、来場者等の安全と万博の円滑な運営を確保することは、開催地を受け持つ大阪府警察としての重要な責務であると認識している。

○ このため、大阪府警察においては、本年2月に万博会場内に常駐する約250人体制の会場警察隊を新設し、事件事故等への初動対応のほか、警戒警備、警衛警護警備、雑踏事故の未然防止など多様な任務を担っている。

○ 特に、会場内の安全対策については、博覧会協会が自主警備体制として設置している協会警備隊との緊密な連携が不可欠である。

○ 具体的には、施設管理者として一義的に安全対策の責任を有する博覧会協会に対し必要な指導・助言を行うとともに、博覧会協会が行うことができない犯罪の捜査や警衛警護警備等にあたっている。

○ また、開幕前には、緊急時における協会警備隊との連絡体制を確立したほか、合同訓練を実施し、現場対応能力の向上を図っている。

○ 開幕後も、セキュリティ上の課題が浮上した場合などに、情報共有会議等を開催しているほか、イベントの開催により混雑が予想される日など、特に警戒を強化する必要がある場合には、事前に協会警備隊に対して、安全対策にかかる指導・助言を行い、タイムリーな連携を進めている。

○ 引き続き、全ての来場者が安心して万博を楽しむことが出来るよう、博覧会協会をはじめ関係機関と密接に連携しながら、情勢に応じた適切かつ的確な警察諸対策を講じ、万博の安全・安心の確保に万全を期して参る。

【要望】

博覧会協会が配置する自主警備員に関して、今日初めて仕事に来た警備員が研修を受け、次の日には前日に研修を受けたばかりの警備員が初めて来た警備

員に研修を行っているとの声も聞いています。

万博推進局によると民－民の話だから府として関知することはないとのことでしたが、仮に何か大きな問題が発生してしまったとき、民－民だからと言って非難を逃れることは難しいでしょう。

報道でもあるパビリオン工事にまつわる工事費未払い問題も同様です。後者の問題では大阪府のかかわる事業において未払いの場合であっても、府の別の公共事業の入札には参加できるとのことでした。つまりペナルティがない状態です。

万博は国の事業ではありますが、大阪府も諸課題に対して、ときに厳しく対応することも検討していただきますようお願いいたします。

③ 舟運の活性化について

大阪・関西万博の開幕に向けて、府では、海船と川舟の乗換ターミナルである中之島ゲートサウスピアの整備を進めてきました。しかしながら、中之島や道頓堀など、人気の観光スポットから安治川を渡り、中之島ゲートを経由して、海に囲まれた万博会場に向かう船はまだ少なく、盛り上がりには欠けているように感じます。

私は、昨年６月定例会の一般質問においても、やりとりをしたのですが、府の舟運活性化への取組みについては、大きな期待を寄せているところであり、この現状を少し残念に思います。

万博の開催だけでなく、今後のＩＲ開業も考えれば、大阪の成長にはベイエリアの活性化は欠かせません。その意味では、中之島ゲートサウスピアの活用をはじめ、大阪市内を流れる水の回廊のにぎわいづくりが極めて重要と考えますが、どのような取組みを進めていくのか、府民文化部長に伺います。



3

（府民文化部長答弁）

○ 舟運の活性化に向けては、万博の開幕に合わせてこの4月に、公共船着場に賑わい施設や多目的広場を併設した中之島ゲートサウスピアをオープンさせたほか、大阪市内の水の回廊周辺の3か所において、水と光で演出する大規模なウォーターショーなどの「OSAKA リバーファンタジー」を実施しているところ。

○ 今年度はさらに、中之島ゲートサウスピアも含め、大阪市内の人気の観光スポットを舟で周遊できるよう、水の回廊を周回する航路創出に向けた社会実験や、中之島の夜間景観を彩るため、堂島川等の護岸に設置したライトアップ施設のリニューアルに向けた調査検討を行うこととしている。

○ 今後、I R開業も控え、安治川から夢洲につながる航路のニーズは高まるものと考えており、中之島ゲートサウスピアのさらなる活用をはじめ、舟運の活性化に継続的に取り組むことにより、水都大阪としての魅力向上を図っていく。

【要望】

中之島ゲートサウスピアの整備は万博に向けて大阪の舟運の活性化を図る重要施策であったと認識しています。本整備にあたって船の発着回数等の数値目標は設定されていないとのことですが、これには疑義を示さざるを得ず、現在の状況はここにも大きな要因があると言っても過言ではありません。

I Rに向けて大阪の舟運を活性化するために、まずは中之島ゲートサウスピアへの船の発着回数を増やすことが第一ステップである旨のご答弁でありまし

た。それを達成するべく目標数値を設定するとともに、安治川～夢洲航路のマイルストーンを作成し、それをもとに各事業を展開していただきますようお願い申し上げます。

④ 学びの多様化学校について

現在、府立高校で学びの多様化学校の設置に向けて、通常制限されている遠隔授業の更なる弾力化など、教育課程の特例事項について文部科学省と協議されているところと聞いています。

不登校状態にある生徒を受け入れるということで期待する一方、多種多様で10人いれば10人とも異なる不登校の理由を抱えた生徒を学校開設当初からすべて対応するのは非常に高い壁ではないでしょうか。まずは学校としての当初運営を円滑に進めるために、受け入れる生徒の特性を一定制限し、運営が軌道に乗るとともに徐々に受け入れ生徒の幅を広げていくべきと考えます。

先行事例である神奈川県星槎中学高等学校を視察した際には、行動特性のある生徒の入学に対して、暴力を振るうような生徒は学校の運営を困難にすることから制限をかけている例もありました。もちろん学校としてはすべての生徒を受け入れたいが、そうすることは他の生徒にとって安心できる場とするために実施は難しく、そのため制限を実施しているとのことでした。そこで、府立高校として設置する学びの多様化学校は、受け入れに際して行動特性のある子どもに対して条件等を設ける予定はあるのか。教育長に伺います。



4



5

（教育長答弁）

○ 現在検討中の学びの多様化学校では、府立高校に在籍し、不登校傾向にある生徒を転学によって受け入れる予定である。

○ 受け入れにあたり行動特性に関する制限は設けないが、体験入学等によりその生徒の学びや育ちに望ましい環境であるか、また、教育課程の特例事項を必要とするか等を生徒、保護者、在籍校とで十分に確認することを想定している。

○ なお、転入学後は、個性や特性のある生徒も含め、全ての生徒に対して、スクールカウンセラー等の専門人材を交えて、丁寧な指導や支援を行っていく。

【要望】

答弁調整をしている際、不登校特例校の制度を必要としている生徒に対し、行動特性の有無を受入れの条件にすべきではなく、必要な個別対応を行うこととなり、これが公立だからこそ、という発言がありました。もちろん意気込みは素晴らしいと思いますが、不登校生徒の中には学校へは行きたいが、今所属している学校に通うのが難しいという生徒も多く存在すると考えます。受け入れ態勢が不十分であったが故、せっかく希望をもって移った学びの多様化学校も通いたくない学校となってしまってはなりません。この点も踏まえ、慎重に検討を進めていただけるよう要望します。

⑤ 論理教育について(1)

最後に、かねてより教育常任委員会で質疑を重ねている論理教育導入に向けて質問します。

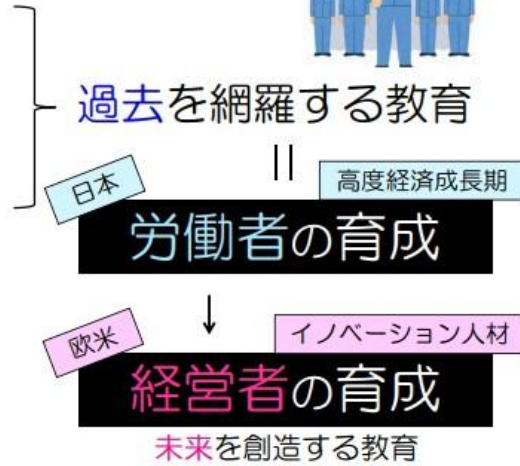
日本の教育のルーツは中国の「科挙」にあります。科挙とは門閥貴族による上級官職の独占の弊害を打ち破るために実施された、いわゆる官僚登用試験であり、「家柄や身分に関わらず優秀な人材を選抜する」という趣旨は素晴らしいものであった一方、その実態は試験に合格するために課される儒教經典の丸暗記等の過酷な生活と試験への重圧でした。日本や韓国などの受験文化はここにルーツを持ち、いまだ子どもたちの多くは早ければ幼少期より、眠さに耐え、気合と根性で机に向かうことが「努力」として美徳化される教育環境に身を置かざるを得ず、欧米の子どもたちがキャンプなどに勤しむ幼少期とは対照的です(パネル6)。



日本におけるパターン演習や過去問に終始する科学型の学習はいわゆる「過去を網羅する」教育であり、高度経済成長期の「与えられた仕事を完璧にこなす、大量の優秀な労働者」を育成するには適したシステムである一方、「未来を創造する」イノベーション人材の育成とは相反するものです(パネル7)。

日本の学習の現状

- 知識偏重
- 詰め込み
- 点数重視



7

現に、科学技術の世界ではフィールズ賞・ノーベル賞の獲得人数を見ても欧米に大きく水をあけられており、世界大学ランキングでは欧米はおろか、新興アジア諸国にも差を付けられているのが現状です(パネル8)(パネル9)。

欧米との比較

	フィールズ賞	ノーベル賞 (物理・化学・生理医学)
日本	3名	23名
↑↓	↑↓	↑↓
米国	14名	301名
↑↓	↑↓	↑↓
英国	9名	99名

8

QS世界大学ランキング（アジア版）			
2008年		2024年	
1位	東京大学	1位	北京大学
2位	京都大学	2位	香港大学
3位	香港大学	3位	シンガポール国立大学
4位	シンガポール国立大学	4位	南洋理工大学
5位	香港科技大学	5位	清華大学
6位	香港中文大学	6位	浙江大学
7位	大阪大学	7位	復旦大学
8位	北京大学	8位	延世大学校
	ソウル大学	9位	高麗大学校
10位	清華大学	10位	香港中文大学
		14位	東京大学
		17位	京都大学

9

ご覧の企業の世界時価総額ランキングでも日本企業の凋落は著しく、加えて海外企業は次から次へと新たな企業が出現している一方、日本での企業の新陳代謝はあまりなされていないと言わざるを得ません(パネル 10)。

世界時価総額ランキング			
1989年		2024年	
1位	NTT	1位	アップル
2位	日本興業銀行	2位	マイクロソフト
3位	住友銀行	3位	エヌビディア
4位	富士銀行	4位	アルファベット
5位	第一勧業銀行	5位	アマゾン・ドット・コム
6位	IBM	6位	サウジアラムコ
7位	三菱銀行	7位	メタ・プラットフォームズ
8位	エクソン	8位	パークシャー・ハサウェイ
9位	東京電力	9位	イーライリリー
10位	ロイヤル・ダッチ・シェル	10位	テスラ
11位	トヨタ自動車	11位	ブロードコム
12位	GE	12位	台湾積体電路製造
13位	三和銀行	13位	ウォルマート
...	...	...	...

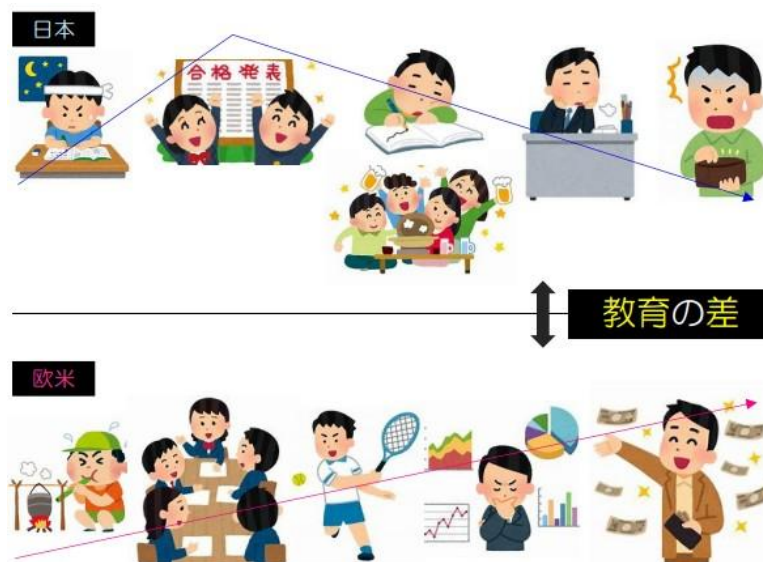
10

日本の教育システムは大きな変革が成されず旧態依然で世界から後退している一方、スポーツの世界ではかつての「水飲むな」、「永遠に走れ」という気合・根性の時代から欧米同等の科学的なトレーニングが導入された結果、つまり大きな変革をした結果、世界に伍する日本を実現しました(パネル 11)。



11

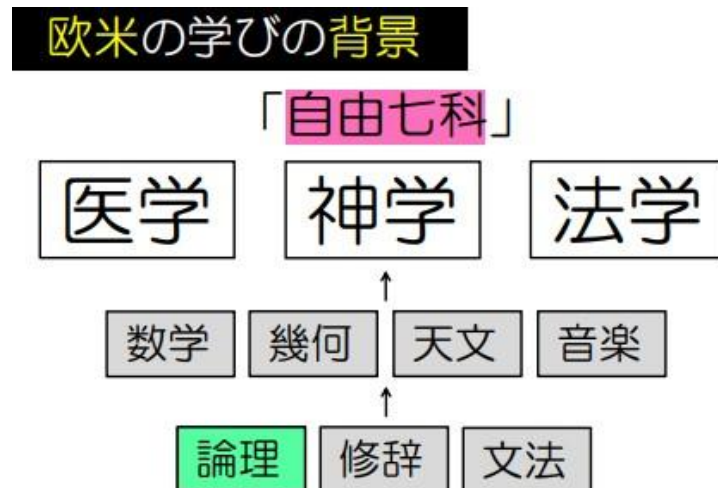
「努力」とは広辞苑によると「目標実現のために、心身を労してつとめること」であり、子どもたちの勉強における目標について知らず知らずのうちに私たち大人が〇〇高校・〇〇大学合格に設定せざるを得ない環境を作っているのではないか(パネル12)。



12

すべての子どもたちはあらゆる分野において世界に伍するイノベーション人材になりうる金の卵であり、大阪・関西万博において多くの子どもたちは世界の技術を目の当たりにして将来の未知の社会課題を解決すべき人になりたいと思うきっかけに大いになったと思っています。そんな今こそ、教育システムを変革させる絶好の機会であると考えます。

イノベーション人材を絶え間なく育成する欧米の教育システムはいわゆる「自由七科」がその背景にあります。論理・修辞・文法を「習慣化」した後に算数などの基礎科目を学び、専門分野に進むシステムが取り入れられており、とりわけ「論理」の習得は重要とされています(パネル 13)。



13

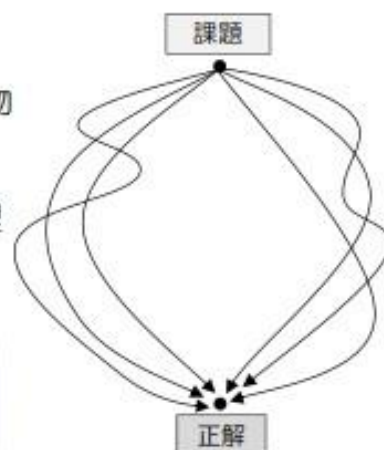
「論理」とは議論の筋道・筋立てを自ら作ることであり、課題から正解に至る論理経路を作ること、つまりプロセスを重視する欧米の教育システムは、正解を追求する結果重視型の日本のそれとは大きな違いがあります(パネル 14) (パネル 15)。

「論理」とは…？

① 議論の筋道・筋立て。比喻的に、物事の法則的なつながり。

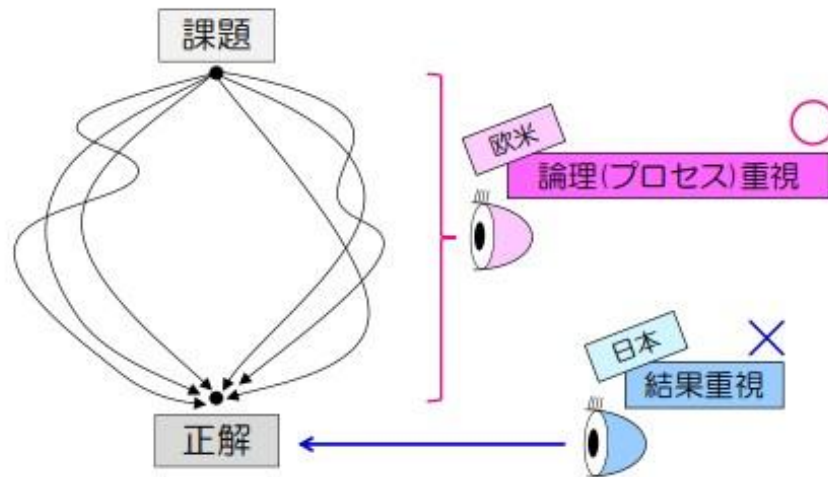
② 「論理学」の略。また、一つの論理学が立つ体系。

正しい思考過程を経て真の認識に達するために、思考の法則・形式を明らかにする学問



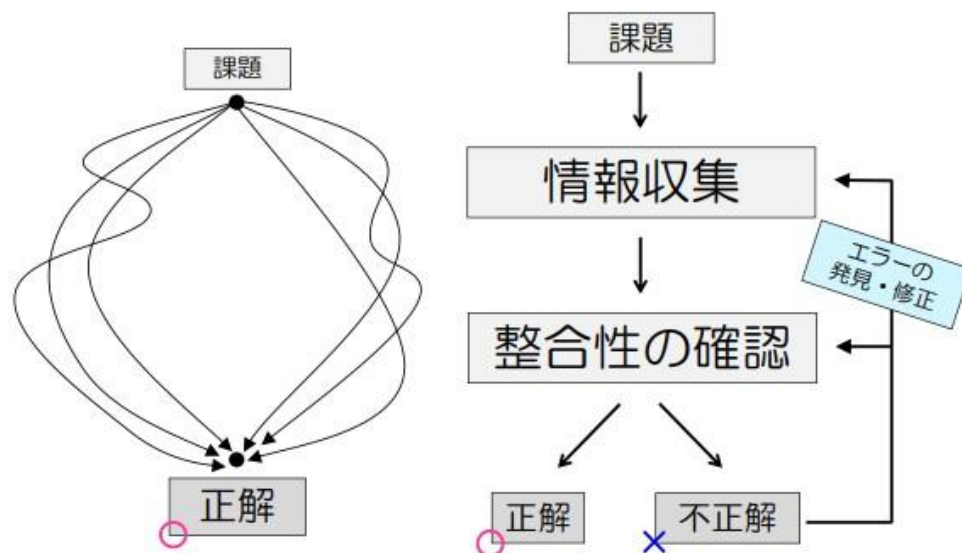
14

「論理」とは…？



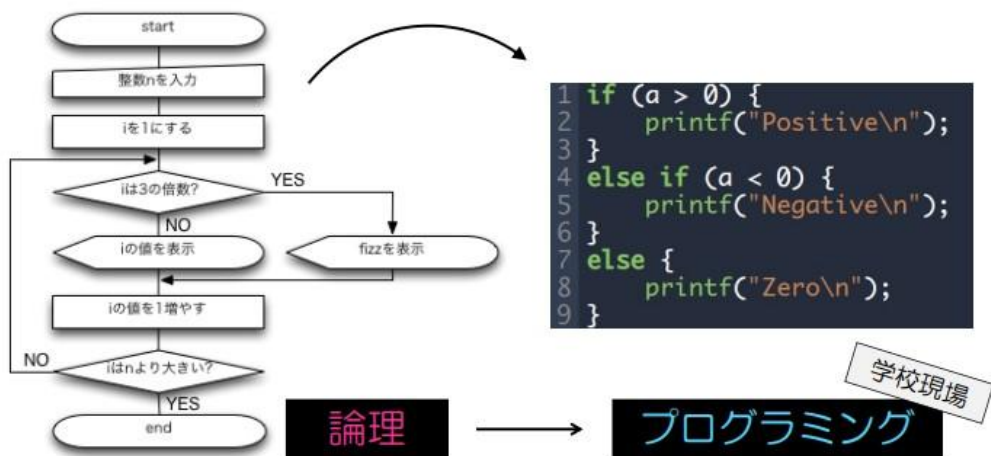
15

つまり欧米の子どもたちは正解が出ればプロセスを問わないという環境下にはおらず、パネルのようなトライ＆エラーを重ねながら論理経路を作る作業を日常的に行っているわけで、これこそ課題解決型人材育成の 1 つのモデルケースであると考えます(パネル 16)。



16

プログラミングとは論理経路を作る作業の先にあるもので、日本で導入されているプログラミング教育は、論理教育を飛ばした状態であり、効果は極めて限定的と言わざるを得ません(パネル 17)。

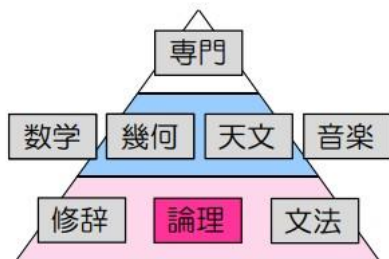


17

将来進む専門分野に向けて論理をベースに体系立った教育システムを取る欧米と、入試を1つのゴールに設定し、いきなり科目の学習に入る日本の教育システムではイノベーション人材育成という観点からは大きな隔たりがあると言わざるを得ません(パネル18)(パネル19)。

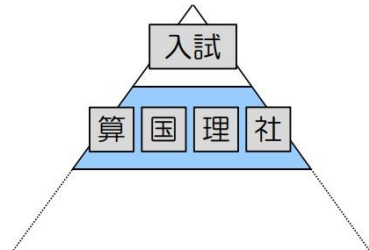
大阪府においても、小学校において論理を学ぶことが必要だと考えていますが、府教育庁として論理教育の必要性をどうとらえているか。教育長の所見を伺います。

欧米の「論理」の立ち位置



18

日本の「論理」の立ち位置



19

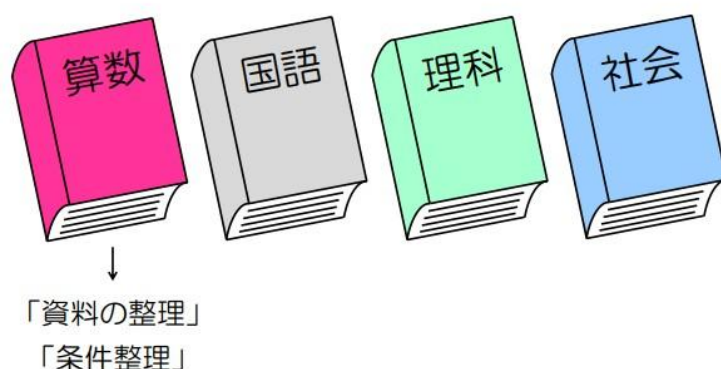
(教育長答弁)

- 論理的に考える力や、課題に対して情報を収集し、試行錯誤しながら答えにたどり着く力、また、問題解決までの見通しをもつことは、義務教育段階の子どもたちが将来、社会の中で生きていくために必要なことと認識している。
- 各学校においては、学習指導要領に示されているように、各教科や領域の指導を通して育成を図っているところ。

⑤ 論理教育について(2)

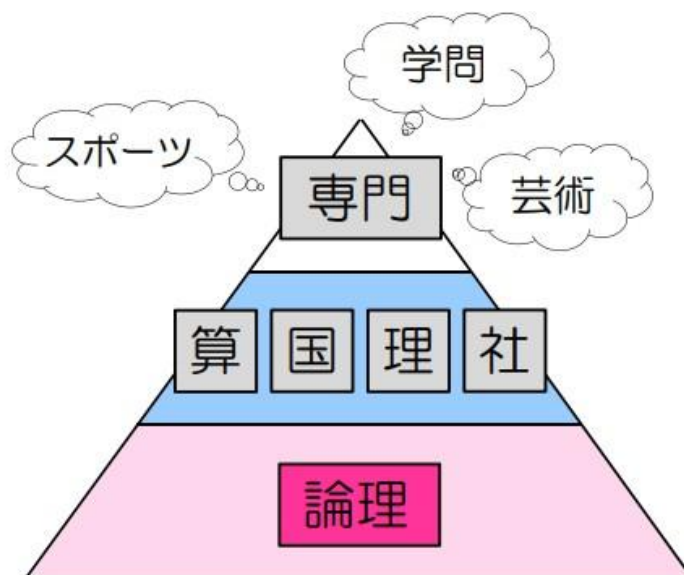
日本にも「論理」というものは存在しており、どこにあるかという学びのベースではなく、「資料の整理」や「条件整理」と名を変えた算数の1単位として属しており、子どもたちが論理に触れるのは極めて短期間のみで、欧米のように恒常的に触れることはありません。これでは論理的に物事を考える習慣を身に着けることは不可能です(パネル 20)。

日本の「論理」の立ち位置



20

答弁調整のやり取りの中でも教育庁は学習指導要領の範疇で、算国理社の各科目の学習を通じて論理的思考力を涵養していけばよいとのことでした。しかし専門科目の知識を得ることと論理的思考力を得ることを同時に追わせて本当に子どもたちは十分な論理的思考力を身に着けられるのでしょうか。二兎追うものは一兎も得ずで、やはりパネルのように独立すべきと考えます(パネル 21)。



21

この機会に「論理」がどういう学習をさせるか述べると、例えばパネルのように「発言をもとに順番を並べ替える」や、「発言から犯人を見つける」等いわゆるクイズ形式の問題が論理の問題です(パネル 22) (パネル 23)。この延長線上にあるのが外資系イノベーション企業 (Google、Apple 等) の入社試験で、この問題を見ても海外の企業が論理力をいかに重要視しているかが一目瞭然です(パネル 24)。

論理(例1)

太郎、次郎、三郎、四郎、五郎、六郎の6人が座(すわ)り方に関して話をしています。

太郎「次郎はぼくのとなりに座っているよ。」



次郎「四郎君と五郎君の間には3人が座っているね。」

三郎「ぼくのとなりに四郎君がいるよ。」

四郎「五郎君はぼくの右にいたね。」

五郎「ぼくたちは一列(いちれつ)に並(なら)んで座っているよね。」

六郎「ぼくの両(りょう)となりに次郎と五郎が座っています。」

このとき、6人を座っている順に左からならべかえなさい。

22

論理(例2)

先生「窓ガラスが割れているじゃないか！誰が割ったんだ！？」

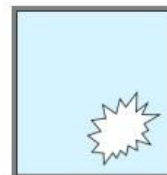
太郎「次郎君ではありません！」

次郎「三郎君ではありません！」

三郎「次郎君は本当のことを言ってくれている…。ありがとう。」

先生「実は先生は犯人を知っているんだ。犯人は本当のことを言ったな。

あと、ウソをついた人が少なくとも1人いるな…。」



さて、ガラスを割った犯人は誰でしょう。

23

●どちらもちょうど1時間で燃え尽きる導火線が2本ある。この導火線はムラのある材質でできているために燃え方に速い部分と遅い部分があり、一定の割合で燃え進まない。さてこの2本の導火線と1個のライターだけを使って、正確に45分を計るにはどうするか？

MicroSoft

●テーブルに裏表のあるコインが100枚、並べられています。10枚は表が、90枚は裏が上になっています。あなたはコインの裏表を見たり、感じたり、他のどんな方法を使っても知ることはできません。表が上になっているコインの数が同じになるように、コインを2つの山に分けてください。

Google

●箱が3つあります。1つにはリンゴのみ、1つにはオレンジのみ、もう1つにはリンゴとオレンジが入っています。全ての箱には間違ったラベルが貼られており、そこから中身を知ることは出来ません。箱を1つ開けて、中身を見ずに果物1つだけを取り出します。その果物を見て、すぐさまラベルを正しく貼り直す方法を教えてください。

Apple

24

では、そのような論理力を育成するために府教育庁として具体的にどのような取り組みをしているか。教育長に伺います。

(教育長答弁)

○ 府教育庁では、「小学生すくすくウォッチ」において教科横断型問題として「わくわく問題」を実施しており、子どもたちは様々な情報から必要な情報を読み取り、整理し、論理的に自らの考えを形成し、表現する問題に取り組んでいる。

○ 問題を通して、「読んで、考えて、表現する」という力の育成につなげるとともに、問題を活用した指導参考資料を市町村教育委員会、各学校に提供している。

○ 今後も、さらなる教科横断的な学びや論理的に考える力をはぐくむ授業が行われるよう、すくすくウォッチの実施やその後の資料提供等を含め支援してまいります。

【要望】

大阪府において独立した論理の学びの実践は正直高い壁が存在するなと感じます。一方、論理教育導入に向け動き出した地域もあります。大阪市此花区では令和7年度の区政運営方針で独立した論理の学びの導入が示され(パネル25)(パネル26)、広報誌への論理問題掲載(パネル27)等、様々な取り組みが進められています。

令和7年度 此花区運営方針（案）		（ 所属長：中島 政人）
「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」		
目標	新旧融合・共創で、常に進化する街、「SDGs先進区」の実現を目指す。	
使命	此花区に新たな価値を創る活動を促進し、「住むなら此花区！」と言われる街にする。	
令和7年度所属運営の基本的な考え方	施策展開の土台となる「共創・連携の推進」「『伝わる』情報発信」「地域コミュニティの活性化」により、「区内の活性化及び回遊促進」「安心・安全・きれいで環境問題に取り組む街」「区民の健康の維持・向上」「子育て環境の向上」を重点施策として取り組む。	
重点的に取り組む経営課題		
経営課題1 区内の活性化と回遊促進		

25

経営課題4 子育て環境の向上		5決算額	19百万円	6予算額	24百万円	7予算額	27百万円
課題認識	子育て環境の向上を図り、目標・使命に掲げる街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。 ・学校において、不登校、ヤングケアラー等の児童生徒が増加し、今まで以上の対応が必要である。 ・こどもの居場所、役所間において、情報交換を行うことにより、安定的かつ効率的な運営を図る必要がある。 ・児童生徒に、さまざまな課題解決に役立つ論理思考力を養わせること						
主な戦略 (課題解決の方策)	・不登校、ヤングケアラー等に専門知識をもって対応するため、小学校のスクールカウンセラーを増員する。 ・区役所と区社会福祉協議会が共同事務局となり、此花区こどもの居場所連絡会を立ち上げ、こどもの居場所への情報提供や情報交換の場の提供を行う。 ・広報誌等に、楽しみながら論理思考力が養成できる問題を掲載するとともに、学校等とも連携する。						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた)	・小学校へのスクールカウンセラーの増員により、対応能力が向上したと感じる校長数：8小学校長（全校長） （目標年次：令和7年度）						

26



論理的思考で答えを導け！

名探偵 このはちゃんからの挑戦状

論理的思考とは、人が何か問題を解決したり、より良いコミュニケーションをとるために必要な能力です。勉強・スポーツ・その他、人のあらゆる行動に大変役に立ちます。

今月からシリーズで毎月論理的思考を磨く問題を出題していきます。ぜひ挑戦してください！

太郎、二郎、三郎の3人が競争を行いました。順位を競います。以下は、走り終えた後の3人の順位に関する発言です。

太郎「僕は2位ではなかったよ。」

二郎「僕が1位になりました！」

三郎「僕は2位になりました。」

3人の発言のうち、1人がウソをついているとき、3人の順位をそれぞれ答えなさい。ただし、同じ順位の人はいなかったとします。

27

「教育は国力である」と叫ばれて久しいですが、残念ながら未だ、科学型の教育システムを抜け出せずにいるのが現状です。万博開催地、大阪から大阪人気質を生かした教育の大きな変革が起きることを強く願い質問を終わります。
ご清聴ありがとうございました。

